

## 最近の**税**に関するコトバ集

「ワクチン接種促進のため、広報とアプリ開発に 10 億円を投じる」(8 月 12 日、東京都福祉保健局)——8 月の補正予算案で。若年層に新型コロナのワクチン接種を促すことを目的に、事業費として 10 億円を計上した。そのうち 2.5 億円はワクチンの接種記録を登録するアプリの開発に充て、接種した人が協賛企業からクーポンなどを得られるようにするという。残りの 7.5 億円は WEB 広告や動画の配信に活用する。都民からは「アプリ開発でまた中抜きか？税金の使い方が間違っている」「その金で病床を拡大しろ」などと批判の声が上がった。

「負の所得税を提唱したい」(8 月 7 日、元国務大臣の竹中平蔵氏)——朝日新聞グローブの取材で。コロナ禍で生活に困窮する人がいるなかセーフティネットをどのように整備していくべきかを問われ、「議論のために提唱するとすれば『負の所得税』という考え方だ」と答えた。負の所得税とは、所得が一定の水準に達しない人に対し、課税対象となる所得の下限との差額に応じて給付金を支給する制度のこと。生活の保障を受けるハードルが下がるなどのメリットがある一方、既存の税法や社会保障制度との調整が難しく制度設計が困難とされる。

「税金を使っているのだから五輪の帳簿はしっかり残せ」(8 月 1 日、TBS の松原耕二キャスター)——テレビ番組で。1998 年の長野五輪で約 9 千万円の用途不明金を隠蔽するために招致委員会が会計帳簿を焼却処分したとみられていることに触れ、「税金を使った大会なのだから、のちのち(予算の用途が)検証できるようにすべきだ」と帳簿の保管ルールのは正を求めた。また「組織委は都や民間など寄せ集めの組織。どこが責任を取るかはっきりしない」と運営体制にも言及した。

# 気になるニュースの キーワード



## 改正育児・介護休業法

育児・介護休業法は、育児や介護をしながら働き続けることができるように労働者を支援する法律だ。このほど男性の育児休業取得を推進する改正法が成立した。

既存の育休制度では最長で子が2歳になるまで休業できるが、分割して取得することができず連続して休まなければならないことから、仕事をもつ男性にとって利用のハードルが高かった。そこで改正法では、子の生まれた直後に男性が活用できる育休制度が新設され、既存の育休制度と併用して複数回に分けて休業することができるようになった。新制度では子どもの生後8週間以内に最大4週間の育児休業を取得できる。既存の育休制度と二本立てで利用可能だ。

休業を申し出るまでの期限も短縮された。現行制度では休業希望日の1カ月前までに申し出なければならないが、新制度では2週間前までに申請すればよい。また、労使協定を締結した範囲内であれば、休業期間中でも就業できるようになる。

企業には本人への取得意思の確認や相談窓口の設置、研修の実施など育児休業制度を利用しやすくするための雇用環境整備が義務付けられる。義務に違反した企業には罰則がある。

# Welcome to 東京! オリンピック小ばなし

## 金メダルを噛む理由

8月8日に閉会した東京五輪で、日本選手団は総メダル数 58 個、うち金メダル数 27 個を獲得し、ともに過去最多を記録した。2つの金メダルを獲得した競泳女子の大橋悠依選手や兄妹で優勝した柔道の阿部一二三選手らはメダルを噛んで喜びを表現した。

金メダルを噛み締めるのはいまや選手が喜びを表現するパフォーマンスとしておなじみとなっているが、もともとは金が本物かどうかを確かめる行為に由来している。初めて金メダルを噛んだ選手とされる 1988 年ソウル五輪・競泳男子優勝のダンカン・ジョン・アームストロング選手(豪)が「金メダルが本物か確かめるためにメダルを噛んだ」と説明したためだ。最初の夏季五輪である 1896 年のアテネ五輪が開催された当時のコインの取引業者は金貨を噛んだあとの歯形で純金かどうかを見極めていたといい、ダンカン選手はこの行為を模倣したとみられている。

なお、1912 年のストックホルム五輪を最後に金メダルの主要な素材は銀にかわった。